

フルに実現、サードプレイス・キャラバン!

“懐かしき昭和、思い出の平成”

# FMP主催 第1回 レコード&CDジャケット・アート展

「自分で幸せをつくる！」みんなのサードプレイス(第3の居場所)“フォーラム杜屋”を活動拠点とする市民活動団体:フォーラム杜屋プロジェクト(FMP)初の外部イベントとして、全世代の感性にアピールする“レコード&CDジャケット・アート展”を豊浦町の公民館巡回スタイルで開催します。

フラットお一人で、カップル(ご夫婦)で、気の合う仲間と。でも、本当はご家族お揃いでのご来場を心よりお待ちしております!

## ＜展示内容＞ 歌謡曲主体にオールジャンルを網羅

- アナログレコード約500枚  
ドーナツ盤250枚、LP200枚、ほか10インチ、ソノシートなど
- CD約200枚 デジパック、縦長ブック装丁、全集BOX、8cmCDなど
- 音楽書籍と雑誌、ポスター、チラシなど

観覧無料

## ＜公民館巡回日程＞ 各会場共土曜、日曜の2日間開催

- ①黒井;4月13,14日、②室津;4月20,21日、③川棚;4月27,28日、
- ④小串;5月11,12日、⑤宇賀ふれあいセンター;5月18,19日

※観覧時間; 土曜9:00~19:30, 日曜9:00~18:00 (入場は終了30分前まで)



主催; フォーラム杜屋プロジェクト(FMP)  
〒759-6312 下関市豊浦町黒井1756-8

協賛; 下関市豊浦町の各公民館と宇賀ふれあいセンター  
後援; 北高夢ロード実行委員会

◎お問合せ  
サードプレイス:フォーラム杜屋; ☎083-774-1233  
E-mail; fmp@brown.plala.or.jp



# “懐かしき昭和、思い出の平成”

## — FMP主催 第1回 レコード&CDジャケット・アート展 —



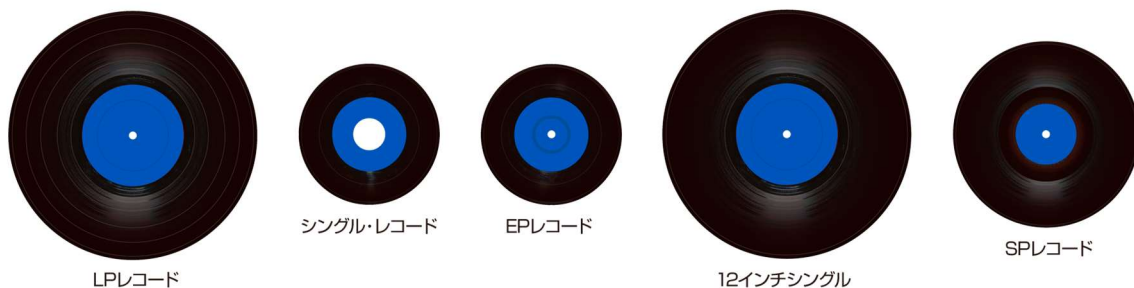
＜「自分で幸せをつくる！」企画展開催に寄せて＞ FMP代表 市倉栄治

音楽が手軽に楽しめる時代になった反面、それらから得られる感動や人生への影響度は著しく低下しているように感じます。「モノ」としての音楽、すなわち、アナログ・レコード(LP、ドーナツ盤など)やCDが高価だった昭和・平成に青春時代を過ごした人々は、それら音楽ソフトに自身の思い出や人生を重ねて「コト」を見出していました。モノをじっくり愛でて楽しみ尽くし“心の糧(かて)”としていたのです。

一方で、Z世代\*以下の方々にとって、アナログ・レコードやCDといった“音楽再生ディスク(円盤)”は「見慣れない昔のモノ(骨董品)」という好奇心の対象になっているようです。レコード再生特有のプチパチ(スクラッチ)・ノイズを“焚火の音”として愛でている若者もいるとか。まさに、時代の流れを感じます。

そんな音楽ソフトへの人それぞれの愛着を蘇らせて、あの頃へタイムスリップさせてくれる“かけがえのない時間”をお届けします。どうぞ、ごゆっくりお過ごしください。 \*1990年代後半以降に生まれた世代

### 参考資料 ; レコードの種類と特徴



#### LP(Long Play)レコード

直径12インチ(30.5cm)で、収録時間は片面最大約30分。33回転(33 1/3rpm)。1948年に米コロムビア社から初めて発売されて以来、現在でも主流のレコード盤です。それまでのセラック盤(SP盤)に対し、素材がポリ塩化ビニール(PVC)となったことで、丈夫で薄くて軽くなり、高密度で長時間の収録が可能になりました。そのためLP(long play)盤と呼ばれています。

#### シングル・レコード

直径7インチ(17.8cm)で収録時間は5分程度まで。45回転。RCAビクター社が1949年に発売したレコードで、オートチェンジャーで1曲ずつ連続演奏するジュークボックス用途を想定して企画・開発されました。中央に大きく穴(直径38mm)が開いており、ドーナツ盤という愛称で呼ばれます。ヒット・チャートの対象となる曲は、大半がまずシングル盤として発売されたものです。

#### EP(Extended Play)レコード

33回転の7インチ・レコードは、「収録時間がLPよりは短い、シングルよりは長い」という特徴から「Extended Play」を略してEP盤と呼びます。通常、片面2曲/全4曲収録で販売されていました。

#### 12インチシングル

LPと同じ直径12インチサイズで、シングル盤同様45回転。一般的には片面に1-2曲だけ収録したレコード。外周部分にのみ音溝が刻まれているため、通常のシングル盤よりもさらに音質が優れています。DJユースのアイテムが多いようです。

#### SP(Standard Play)レコード

LPレコードが開発されるまでの主流で、直径10インチ(25.4cm)。収録時間は4~5分で、78回転。材質はセラック(天然樹脂)のため、重くて割れやすいので取り扱いには注意が必要です。1963年に生産終了。

#### ソノシート

ビニール盤よりも音質の面では劣るもののレコード自体が極めて薄くて軽く、さらに大幅に安価で制作できるため、雑誌の付録などにも使用されていました。サイズや形状も多種多様。朝日ソノラマ社は、「音の出る雑誌」でソノシートを普及させました。

#### ピクチャー・レコード

盤面にアーティストの写真などを印刷した紙を挟みこんだレコードで、プレミアム盤などに使用されます。通常のレコードより重く、音の鮮明さも劣ります。レコード本体にビジュアル要素を盛り込んだ商品。

COMPACT  
disc



### ☆多 レコードとCDの違い

両者には記録方式に違いがあり、CDは音楽情報(連続振動波)を数値化してから記録しているのです。一般的な音楽CDでは、人間の可聴域(音が聞こえる範囲)である20Hz~20,000Hzの間の音だけを記録しています。それに対しレコードは音楽情報を直接記録しているため、原理的には20,000Hz以上の音(倍音など)も記録することが可能となります。このことがレコードは音が良いと言われている理由のひとつです。同じ音源をじっくり聴き比べてみると音質の違いが納得できることでしょう。

CDは簡単にクリアな音楽を再生できますが、レコードの場合、盤の状態や再生装置の性能など、音質が大きく変化する要素が多くあります。それらの要素を自分好みに調整し、理想の音質を追求できることが癒しの時間となり、レコードが永年にわたって愛され続けている要因だろうと思われます。かの五味康祐は、「レコード再生はその人の人生が鳴る」とまで言いました。